



Title	契約思想と旧約神学
Author(s)	菅沼, 英二
Citation	基督教学, 14, 25-28
Issue Date	1979-07-09
Doc URL	http://hdl.handle.net/2115/46377
Type	article
File Information	14_25-28.pdf



[Instructions for use](#)

契約思想と旧約神学⁽¹⁾

菅 沼 英 二

述するに当って、彼はこれまでの伝統的な教義学的図式（神観、人間観、救済観）によらず、恩師プロクシュの示唆から、「神と民、神と世界、神と人間」という構成を用いた。その内容は次の通りである。

第一部「神と民」（一九三三年）では、

一章旧約神学の課題と方法、二章契約関係

三・四章契約規定（一・二） 五章契約神の名

六・七章契約神の本質（一・二）

八・九章契約の機能者（一・二）

一〇章契約違反と審き、一一章契約の成就

第二部「神と世界」（一九三五年）では、

一二章神の顕現様式

一三・一四章神の世界的力（一・二）

一五章世界像と創造、一六章創造における人間の位置

一七章神の世界保持、一八章天の世界

一九章地下の世界

第三部「神と人間」（一九三九年）では、

二〇章旧約の神関係における個人と共同体

二一章個人的神関係の基本的形態

二二章行為における敬虔の表現Ⅱ旧約倫理

二三章罪とゆるし

G・E・ライト⁽²⁾はその著書「旧約聖書と神学」（一九六九年出版）の中で、次のように述べている。「一九五〇年頃

まで、私はフォン・ラートの神学の立場に近かった。

『働き給う神』（朗誦としての聖書神学・一九五二年）

においては、ラートの神学的見解が最も助けになると

思った。しかしラートの旧約神学が出版された時、あ

る見解の相違を発見した。今や私はアイヒロットの側

に立たねばならない⁽³⁾と。

ライトがアイヒロットの旧約神学の立場を再評価した

ように、我々も彼の旧約神学を契約思想の研究におい

て、再評価・再検討しなければならないと思う。

一、アイヒロットの旧約神学の評価と批判

彼は「旧約神学」第一巻を一九三三年に出版した時、

四十三歳で、バーゼル大学教授であった。旧約神学を叙

二四章神と個人との交わりの不滅性・不死

アイヒロットの貢献の第一は契約を旧約聖書の中心的概念として選んだことである。

第一部の章題で明らかのように、二章から一章までは、「契約」によって貫ぬかれている。第一巻の第五版(一九五七年)序文で、彼は次のように述べている。

「契約は中心的概念とされ、旧約聖書のメッセージの構造的統一性と変らざる根本的傾向性とをそれによって明らかにすることが出来る。契約は単なる教義的概念ではなく、宗教史全体においてユニークな神の現実を啓示するために、特定の時と場所とにおいて開始された生きた経過の特色ある叙述なのである」と。

アイヒロットは旧約聖書の神を「契約の神」とし、神と民との契約関係を旧約聖書の特質として、「契約」理念を旧約聖書全体を貫ぬく根本思想としている。この点において、ポーチャスの言うように、

「アイヒロットが中心理念の選択に非凡にも成功しているということは認められねばならない」と思う。

彼の旧約神学は、それゆえに、「旧約聖書の契約研究」に多大の貢献をしたことは否定出来ない。

アイヒロットの第二の貢献は、旧約聖書の信仰の特質

を神の救済行為の証しと契約との結合に見出していることである。この点について彼は次のように述べている。

「エジプトからの救済はシナイにおける契約締結にその明確な解釈を受け、かくして、ヤールウェと民との相互関係全体の基礎となり、方向づけとなった」(I巻二九二頁)。アイヒロットのこの見解をライトは支持したのである。

他方、アイヒロットの旧約神学に対する最近の批判をも見逃すことは出来ない。

その批判の第一はアイヒロットの旧約神学の全体(第一巻と第三巻)に、契約概念が貫ぬかれていないことである。

彼の神学の第二部と第三部の章題で明らかのように、一二章から二四章までの中に、「契約」を見出すことが出来ない。

ポーチャスが指摘するように、

「しかしながら、彼のなしとげる(契約による)統一はある程度人為的である。その上、アイヒロットはその統一理念を「神の民」という副題のついた第一巻においてしか適用していない」。

そこには、契約による一貫性が貫徹されていない。

第二の批判はアイヒロットが「モーセによるシナイ契約」の伝承を旧約聖書の本質的・基本的なものとして、契約思想を単一化していることである。旧約聖書にはシナイ契約のほかに、アブラハム契約、ダビデ契約等、多様な契約が記され、伝承されているが、これらの契約を彼は軽視していると言わねばならない。

従って、アイヒロットによって志向された旧約神学はこれらの多様な契約思想をも取り上げることによって、もつと豊かなものにされなければならないという課題が残されている。

二、契約の多様性と旧約神学

旧約聖書の中には契約について単一でなく多様な記述があり、また多様な解釈がある。

(1) 申命記神学の契約解釈。「申命記はモーセ契約の神学的解釈である」とJ・ブライトは述べている。(原)申命記は北イスラエル内で伝承され、サマリヤ没落後、エルサレムにもたらされた。申命記ではモーセ(ホレブ)契約が父祖たち(アブラハム、イサク、ヤコブ)との契約よりも優先され、契約の履行が命ぜられている(申五・一〜三)。この契約においては、無条件的な約束は提

供されておらず、イスラエルの歴史は「もし契約に従うならば」という条件の下におかれている(申四・三〇〜三一)。

(2) 祭司典神学の契約解釈。祭司典では三つの契約が体系化されている。

① ノアの契約(創九・一〜一七)は神(エロヒム)とすべての被造物との契約で、虹がそのしるしとされている。

② アブラハムの契約(創一七・一〜一四)は全能の神(エル・シャダイ)と父祖アブラハムとの契約で割礼がそのしるしとされている。

③ シナイ契約(出エ三一・一二〜一七)は主(ヤーウェ)とイスラエルの民との契約で、安息日とその契約のしるしとされている。

祭司典ではこれらの三つの契約が、それぞれ「永遠の契約」(創九・一六、一七・一三、出エ三一・一六)と呼ばれ、祭司典の特色をなしている。それは捕囚期の預言者の書にも見られる(イザヤ五五・三、六一・八、エレミヤ三二・四〇、エゼキエル一六・六〇等)。祭司典記者は捕囚期中の政治的・社会的危機の中で、神と民との契約を永遠の契約として示している。F・M・クロスは祭司典の契

約解釈を以上のように特徴づけている。⁽⁷⁾

(3) 歴代志家の契約解釈。歴代志家は、モーセによるシナイ契約や出エジプトよりも、ダビデ王とその王朝を最も重要なものとし、イスラエルの民の歴史よりも、エルサレムの歴史に関心を向けている。

「ただエルサレムだけを選び、またただダビデだけを選んだ」(歴代志上六・六)。

この言葉が示すように、歴代志ではダビデ契約の永遠の存続が強調され、シナイ契約と出エジプト救済は、ダビデ契約に向う暫定的なものにすぎないと考えられている。⁽⁸⁾

旧約聖書の中には、多様な契約が伝承されている。アブラハム契約、シナイ契約、ダビデ契約のそれぞれの神学的特色を明らかにし、またその多様性の中にある統一性をも探究するという二重の課題が旧約神学に課せられていると思う。

注

(1) これは「最近における旧約聖書の契約研究の動向について」の一部分である。

(2) George Ernest Wright (一九〇一年～一九七四年八月二十

九日)

(3) *The Old Testament and Theology*, Harper, 1969, pp. 61-62.

(4) N. W. Porteous, *Old Testament Theology (OTMS)* p. 327.

(5) D. G. Spriggs: *Two Old Testament Theologies*, SBT II SCM, 1974.

(6) J. Bright, *Covenant and Promise*, SCM, 1977.

(7) F. M. Cross, *Canaanite Myth and Hebrew Epic*, Harvard, 1973.

(8) R. North, *Theology of the Chronicler*, JBL 82, 1963. 補 アイロモント「旧約神学」に「ごく浅見定雄の紹介がある(聖書講座第五巻)。「旧約聖書の契約」の最近の研究書として

D. J. McCarthy, *Old Testament Covenant*, Blackwell, 1972.

補²

アイロモント「旧約神学」の著作

Theologie des Alten Testaments, Leipzig, I: 1933, II:

1935, III: 1939.

ET. *Theology of the Old Testament*, (OTT) SCM I: 1959, II: 1964.

マイロモントの契約に関する論文

'Covenant and Law', *Interpretation* 20, 1966. pp. 302-321.

'Prophet and Covenant', *Proclamation and Presence*, (G.

H. Davies-Festschrift), 1970, pp. 167-188.